

2023年6月24日  
JK1GBE ジイビー

「光陰矢の如し」近年これまで以上に時間が加速度的に進んでいるのは私だけだろうか？ 早いもので昨年の電波伝搬実験からもう1年になる。これまでの TWO-FORTY 誌への寄稿で今年の電波伝搬実験のための準備作業を紹介させてもらったが、いよいよ本番が近づき、むき出しだった給電部（写真#1）の仕上げの時が来た！ そこで今回も雑駁ながらその経緯と結果を紹介する。

まずはマッチングボックスに使えるケースが必要となるが、それには以前製作していた固定用V型ダイポールアンテナのマッチングボックスがあったので、それを流用しようとした。しかしながら、既にあいている穴と新たにあげたい穴の位置が微妙に違い、また余計な穴を塞ぐのも面倒になったので、もったいないが新規に電工用のプラケースをホームセンターで調達することにした。

次に部品を取り付けるための穴あけ作業を行い、写真#2のように部品を取り付けた。ケースの蓋を取り付けるためのビス受けが二か所あるため部品の配置に手間取ったが、どうにか収まってくれた。今回、部品は流用せずに新規にコイルを巻いたり、接地を容易にするため陸軍端子を追加したりした。また、エレメントのロッドアンテナはこれまでの移動で継ぎ目の数か所がぐらついてきたため、以前Iさんから QSY していただいた貴重な専用エレメントを取り付けることにした。（写真#3）この専用エレメントは伸縮と90度折り曲げができるため、調整にとっても重宝した。改めてIさんに感謝！



(写真#1)



(写真#2)



(写真#3)

取付、調整は今までとおりで特に問題なく、いよいよ本番前日となり、下調べと場所確保のため昼までに柳沢峠駐車場に到着した。狙っていた移動予定地の三窪高原はゲートが閉まったままなので断念することに。幸いなことに柳沢峠駐車場横のゲートが開いていたため、そこから入る竹森林道で一番標高の高い（約1550m）尾根際にある切り通しの脇で運用することにした。ここは車1台分のスペースしかなく、場所確保のため夕刻から駐車し車中泊することにした。（写真#4、5）

下調べのため817と5/8λGPを持って三窪高原までハイキングがてら移動運用し、青梅のKさんと双方向で繋がることができた。立川のSさんは残念ながら受信のみだった。各局のご協力に感謝！



南アルプスを望む (写真 # 4)



移動地 (写真 # 5)

そして迎えた当日、心配だったコントロール局とも無事繋がり、実験結果は以下のとおりとなった。

電波伝搬実験 (2023/05/28 実施) 結果 RS レポート表

実験参加局の移動ポイント	相手局 RS	自局 RS	相手局 ANT
関八州見晴台 (約 771m) コントロール局	52	52	1/2 λ GP
筑波山京成ホテル付近(約 543m)	53	51	1/2 λ モビホ
青梅市今井駐車場(約 170m)	41	-	5/8 λ モビホ
渋峠国道最高地点付近(約 2126m)	51	51	1/2 λ モビホ
赤城山中腹牛石峠(約 1420m)	51	51	3/8 λ モビホ
深沢展望台(約 390m)	-	-	3/8 λ モビホ
御岳スカイライン(約 2200m)	51	51	1/2 λ モビホ
富士山五合目駐車場(約 2279m)	59+10dB	59+10dB	1/2 λ モビホ
富士山新五合目駐車場(約 1440m)	31	-	スイスクワッド

今回は御嶽山移動の H さんと初めて繋がり、一番の目標を達成することができました。この寄稿をお借りして、楽しく有意義なイベントのためにご協力いただいた各局、特にコントロール局の S さん、K さんに改めて厚く御礼申し上げます。あとは技術講習会での分析結果を楽しみにしつつ、来年の移動地をどこにするか思いを馳せる今日この頃です。

今回も雑駁な寄稿となりましたが、何かのご参考となれば幸いです。Tnx!



(三種高原展望台)



(富士山と甲州市にかかる雲海)